

子を産む？ Eagle Stone

私がワシ・タカ大好きということをよく知っている親しい友人が、とても面白い「ワシの石」－“Eagle Stone”の話をもってきてくれました。独占するのはもったいないようないい話ですので、この欄で皆さんにご披露いたします。

石は世界中どこにでもあり、そのひとつひとつが世界中探してもただひとつのものであるという面白さがあり、温もりがあり、なにかそっと懐に入れておきたいと思うことはありませんか？

古代から伝説として、自分で増えていくことのできる石、アエタイトという石がありました。イーグル・ストーンと呼ばれ、石が割れると内部からより小さい石が現れる現象で、この石を持っていると子孫の繁栄を高めるということです。夫のワシが、妻のワシに産卵を促すために巣の中に必ず1個以上置いているのだと、人々が信じていたという伝説です。

今日の科学では、イーグル・ストーンは粘土を核とした鉄分の多い殻を構成している粘土鉄質凝結物であり、面白いことに日本でも琵琶湖の地層や沖縄で発見されています。その名もまさに日本的に「鳴る石（なるいし）」と言います。

Eagle Stone (Limonite) または Rattle Stone (ガラガラ鳴る石) と呼ばれている褐鉄鉱のことであり、外側は砂の混ざった褐鉄鉱の皮で内部に白色の粘土が入っており、この粘土が乾燥すると内部に空間ができて、振るとコトコト音がするということです。

探鳥会で河原に出たら、時には目をトリから離して、褐色のイーグル・ストーンを見つけましょう！ コトコト音がするのがポイントです。

大宮のハクトウワシ